


未来の子供達に緑の地球ときれいな空気を!!
今、私達にできることから始めよう!!

をテーマとして横浜はしけ運送事業協同組合及び組合各企業は
日々考え活動しています。

組合概要

■商号

 横浜はしけ運送事業協同組合

■業種

港湾運送事業

■設立

昭和61年5月23日

■出資金

10,000万円

■代表者

理事長 飯泉牧太郎

■役員

専務理事 網代勝夫

理事 小島英明 村木重和 高山天宅 前田健一 野山政彦

// 櫻井美沙子 江口守三 串田素宏 石渡順一 石井洋太

監事 萩原孝廣 高橋三夫

■組合員

石井海運株式会社	栄福船舶株式会社	永和海運株式会社	関東曳船株式会社
協栄運輸株式会社	京浜海上株式会社	港進海運株式会社	大洋海運株式会社
東照海運株式会社	東清海運株式会社	東横商船株式会社	徳松運輸株式会社
二光商運株式会社	株式会社浜吉回漕店	J・ロジテック株式会社	株式会社松喜回漕店
株式会社丸新	丸辰海運株式会社	株式会社丸八回漕店	有限会社港曳船店
明港運輸株式会社	八洲海運株式会社	横浜港開発事業株式会社	

お問い合わせ

横浜はしけ運送事業協同組合

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町279

tel:045-212-2431 (代) fax:045-212-5621

e-mail:y-hasike@alto.ocn.ne.jp

URL:http://www.yokohama-hasike.com

グリーン物流パートナーシップ会議会員

新コンテナバージが物流を変える

Surprise
Innovation

環境保全型物流時代の幕開け

次世代に安心して豊かな環境を

横浜はしけ運送事業協同組合

日本屈指の次世代型コンテナ海上輸送システム誕生!! 「革新」のSafety. Sure & Speedyは今「確信」に!!

スーパー中枢港湾に指定され、ますます
要求が高まる東京湾エリアのコンテナ
海上輸送。こうした時代背景やニーズを受け、
新たに誕生した次世代型コンテナ海上輸送シ
ステムは、在来型「はしけ輸送」の概念を根底
から払拭し、その安全・確実・迅速な大量輸送

能力により、優れたコストパフォーマンスを発
揮します。さらに陸上輸送への過度な依存を回
避し、大気汚染の緩和に貢献できるだけでな
く、エネルギー消費の節約に加え、災害などの
緊急時にはバージの優位性を生かし、海上ル
ートを確保できます。

2005年10月、国土交通省のグリーン物流パートナーシップ
会議においてモデル事業に認定され補助金が交付されました。



東京湾の物流を変える!! 新造グリーンシップ就航

ブッシャーボート主要目

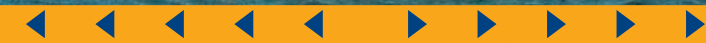
船名	GREEN DASH
総トン数	49.0トン
全長	20.3メートル
垂線間長	18.5メートル
幅	7.0メートル
深さ	2.5メートル
喫水	2.0メートル
主機関	1,000馬力×2
押航速度	8.0ノット



東京



横浜



千葉

コンテナバージ主要目

船名	CFT-No.1
全長	65.0メートル
垂線間長	60.0メートル
幅	20.0メートル
深さ	4.0メートル
喫水	2.5メートル
コンテナ積載量	84本(40フィート型・3段積み)



主な特長

自動化操舵室

喫水より11メートル高い位置にある操舵室は、コンテナ3段積時でも前方の確認が容易で、船首部両サイドに設置した近赤外線カメラと相まって、航行の安全性を一層高めます。各種の航行機器等はオールリモートコントロールで一元化され、総合的な安全対策を誇ります。これにより次世代型コンテナ海上輸送システムは現実のものとなりました。

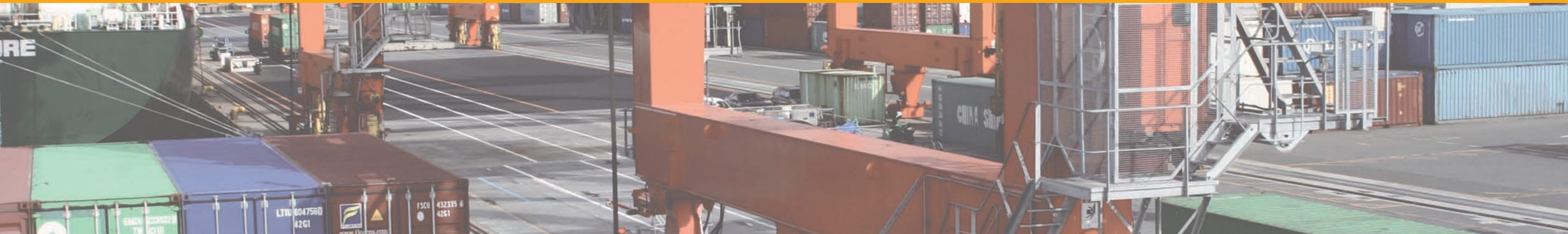


サイドスラスタ

長大なバージは離着岸時、船首部の操船が難しかった。この課題を克服するため、船首部に左右の推進力を発生させ、操作を容易にする装置で、離着岸のスピードアップおよび風・波・潮流などの海象変化にも効力を発揮し、迅速かつ安全な荷役作業を可能にします。

近赤外線前方視認及び両サイド確認カメラ

コンテナバージ船首の両サイドに前方視認用の近赤外線カメラ、船尾の両サイドに確認カメラを設置。プッシャーボートの操舵室からオールリモートコントロール操作でモニター視認し、夜間などの安全航行も図ります。



アーティカップル

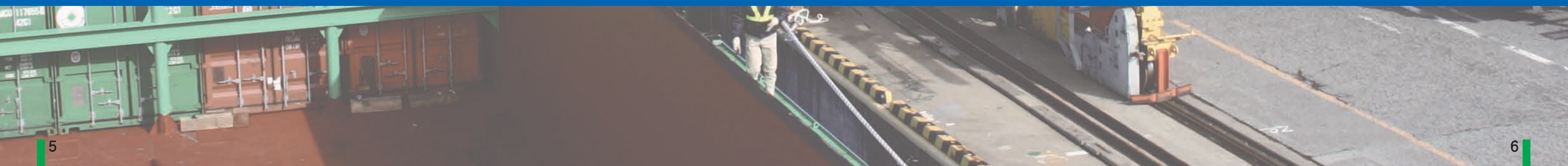
在来型「はしけ輸送」は、ワイヤー・ロープなどでポートとバージを連結していました。本システムでは、アーティカップル(押航船団自動連結装置)方式を導入することで、プッシャーボートとコンテナバージを自動的に直接連結(一体化)することで、より安全性が高まります。

アーティカップルは、バージの使用喫水すべてにわたって喫水調整なしに、ポートとバージの連結・切り離しを操舵室から船長の指1本で簡単に遠隔操作できるのが大きな特徴。しかも、耐航性に優れ、急激な波高変化にも耐えられます。



2,000馬力エンジン搭載

高性能、高出力の1,000馬力エンジンを2基搭載したプッシャーボートは、最大10ノット、押航時でも平均8ノットの速力を確保し、従来の輸送時間を半減します。





船舶番号	
船名	GREEN DASH
総トン数	49 吨
主機関	ディーゼル機関
船籍港	神奈川県横浜市
所有者	横浜はしけ運送事業協同組合

コンテナバージ&プッシャーボート

コンテナバージのホールド内に実入りコンテナ56FEUを格納可能。3段積みの場合には84FEUものコンテナを積み、プッシャーボートと一体化し押航する本システムは、わが国初の試みです。押航時および離着岸の安全性・安定性・迅速性はもとより操船の容易性などは在来型「はしけ輸送」の課題を解決するもので、これにより複数ターミナル間の同日荷役も可能となります。

今後の取り組み

国および港湾管理者、内外船会社、港湾運送事業者のご支援とご協力をいただき、より高い運営効率を追求し、低コスト化に努力いたします所存でございます。



84本

力持ち

本



(トラック84台分)



東京港



横浜港

東京

千葉

横浜



千葉港

(横浜↔東京/千葉)

2

スピーディー

時間

コンテナバージの優位性

東京湾内を自由に行き来できる“コンテナバージ”による一括大量輸送は、道路の渋滞、大気汚染に悩む首都圏の物流システムに画期的な解決策をもたらします。

横浜から東京、千葉にいたる湾岸エリアのコンテナ輸送の手段として海上を一直線つなぐ“コンテナバージ”はトラック80台以上に匹敵する大量のコンテナを一気に運ぶことができます。しかも安全かつ、迅速に海上輸送のできる“コンテナバージ”は、東京湾内に狙いを定めた次世代の柔軟な物流システムです。

84本のコンテナを2時間で輸送 横浜—東京/千葉の物流を変革

地球に優しいグリーン物流

2005年春に横浜港/東京港で行ったトライアル実験の結果、CO2の排出量は陸上輸送と比較して3日間で16.4トン程度の削減(80%程度)が確認されました。

“コンテナバージ”による京浜間のコンテナ海上輸送は、CO2排出削減に向け関係者が協力して発足した「グリーン物流パートナーシップ会議」から2005年度のモデル事業に選定されています。

800%

グリーン

%

(CO2 80%削減)